

33 ホウロクシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Numenius madagascariensis

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

シベリア中東部、ウスリー、中国北東部などで繁殖し、繁殖後は東南アジアからオーストラリアなどに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。沖縄では一部が越冬する。海岸の砂浜や干潟、河口に生息するが水田、草地などでも見られることがある。大型のカニ類を好むが、甲殻類、ゴカイ類も採食する。



写真提供：北野光良

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★高砂市、南あわじ市、淡路市、たつの市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-6月と9-10月に記録がある。かつては県南部に単独か数羽の群れが定期的に渡来していた。近年は分布域が限られてきており、少数が記録される程度となっている。県北部でも、少ないが記録されている。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。